



2023年6月22日

各 位

会 社 名 株式会社BSNメディアホールディングス
代表者名 代表取締役社長 佐藤隆夫
(コード 9408 東証スタンダード)
問合せ先 取締役経営管理本部長 宮腰尊史
(TEL : 025-267-4111)

BSNグループ 中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2023年度から2025年度を対象期間とするBSNグループの中期経営計画を策定いたしましたので、お知らせいたします。

前3か年中期経営計画は2021年度から2023年度を対象期間として公表していましたが、このたび6月に認定放送持株会社となり、グループ経営を一層推進していく体制が整ったことから、あらためて計画を策定しなおしたものです。

新たな中期経営計画では、グループ各社の着実な事業の進展と各社の連携による新事業の創出を図る一方、業務の効率化によるコストダウンにも取り組み、グループ全体で企業価値の向上を目指しております。

2023年6月22日

株式会社BSNメディアホールディングス
代表取締役社長 佐藤 隆夫

BSN グループ中期経営計画（2023～2025）

当社は2021年6月に向こう3年間のグループの中期経営計画(2021年度～2023年度)を公表しました。しかし、新型コロナウイルス感染の長期化により事業環境が大きく変わったこと、また、本年6月1日に認定放送持株会社体制へ移行し、今後、グループ経営を一層推進していく方針であることから、あらためて、中期経営計画（2023年度～2025年度）を策定しなおすことといたしました。当社グループは「総合ソリューション事業グループ」への進化をめざしております。あらゆるコンテンツとサービスの再価値化と新規事業の創出を図り、地域とともに活気あふれる未来を創造してまいります。

<グループパーパス>

BSNグループは新潟の情報産業として地域に寄り添い、様々な課題を解決していくことを通して新潟の持続的な発展に貢献し続けます。

<私たちは、すべてのステークホルダーから信頼されるコンテンツとサービスを多角的に提供します。メディアとして迅速かつ正確な情報発信に努めるとともに、総合ソリューション事業グループとしてサステナビリティ経営を推進し、地域貢献と持続的な成長を果たします。>

■メディアの安全性・信頼性の確保

マスメディアとして迅速で正確、安心・安全な情報を発信することで、信頼性の確保に努めます。

■サステナビリティ経営の推進

持続可能な未来を創造するため、SDGs 17のゴールのうち、3「すべての人に健康と福祉を」4「質の高い教育をみんなに」を重点目標に掲げ、あわせて、8「働きがいも経済成長も」9「産業と技術革新の基盤をつくろう」にも取り組んでまいります。

～BSN グループ「中期経営計画 2023～2025」スローガン～

地域No.1の情報とコンテンツで 課題解決を極める！

新潟で最も信頼され、支持され続けるために
グループシナジーで活気あふれる未来を創造する

1 中期経営計画 2023～2025 数値目標

2021年6月にお示した中期経営計画では、定量目標として、以下の数値を掲げておりました。

	2020年度（実績）		2023年度（目標）
売上高（連結）	21,308百万円	→	20,421百万円
営業利益（連結）	1,138百万円	→	1,185百万円
営業利益率（連結）	5.3%	→	5.8%

2023年度を初年度とする中期経営計画では定量目標として下記の数値を掲げます。2023年度の営業利益予想が前中期経営計画での目標を下回っているのは、電力料の値上げをはじめとする諸物価の上昇により、仕入れ原価など経費の増加を見込んだことによります。なお、2022年度は、システム関連事業において、連結対象に1社（医療事務等の派遣業）加わったこと、自治体のシステム改修業務や首都圏大型開発案件などが予想を大きく超えて伸長したことで、連結の売上高が過去最高を記録しましたが、向こう3年間につきましては、足元の状況を踏まえ、着実な実績を積み上げていく方針です。

	2022年度（実績）		2023年度（予想）		2025年度（目標）
売上高（連結）	23,296百万円	→	22,000百万円	→	22,700百万円
営業利益（連結）	1,647百万円	→	1,021百万円	→	1,100百万円
営業利益率（連結）	7.1%	→	4.6%	→	4.8%

当社グループでは、現在のビジネスモデルの維持・向上を図りながら、グループ各社の連携による事業シナジーを創出する一方で、業務の効率化と適切な支出管理に取り組むことで最終年度（2025年度）に連結売上高227億円、連結営業利益11億円をめざします。

2 中期経営計画 2023～2025 の重点目標

○放送事業においては「ユーザーファースト」の理念を改めて掲げ、地上波とインターネットの両輪であらゆるコンテンツの再価値化と収益化を図るとともに、迅速かつ正確な情報

発信の強化に努めます。

○システム関連事業においては、DXの深化・進化に応えるため新たなビジネスイノベーション「X-Tech」を戦略の核に据えて、お客様と共にビジネスをデザインします。

* X-Tech・・・既存のビジネスと先進的なテクノロジーを結び付けて生まれた新たな製品やサービス、取り組み

○建物サービスその他事業では、資格取得によるスキルアップで施設管理の高度化と効率化を進めるとともに新規取扱物件の維持・再生によって持続可能なまちづくりに寄与します。

■事業別目標

<放送事業>

・放送ビジネスの維持・強化

良質で信頼される情報を、放送とデジタルで視聴者・ユーザーに届け、安全安心で活気ある地域づくりに寄与します。また、生活者のニーズを的確に捉えた番組と広告コミュニケーションで、顧客の満足度向上をめざします。

・コンテンツ価値の最大化と可視化

動画の制作やイベントの企画立案、コンテンツビジネス・IP（知的財産）ビジネスを幅広く展開することで放送外でのマネタイズにも積極的に取り組むとともに、デザイン力の強化と販売ルートの拡大に努めます。

・社会課題解決型事業を推進

地域放送局から地域メディアへ、そしてソリューション企業として地域創生の取り組みに貢献し、自治体や企業の課題解決に寄与するためグループ各社との連携を一層強化するとともに、人材の育成とスキルアップ、DX化の推進で新たな事業領域にもチャレンジしていきます。

・持続可能な開発目標（SDGs）の推進

持続可能な開発目標（SDGs）達成のため、引き続き「新潟からSDGs」のスローガンの下、自ら行動するとともに、県民の行動変容に寄与する情報発信を続けます。

<システム関連事業>

・事業力の強化

お客様、また社会と価値共創することを意識したパートナーシップの開拓を通してパーパスの目標にも掲げられている地域課題解決×ITを進めていきます。

・技術力の強化

IT企業として信頼される技術集団を目指すことから、最新のIT技術に関する取り組みを強化していきます。デジタルイノベーション、DX推進に向けてITソリューションの提供を推進することで、BSNアイネットならではの業種・分野を跨ぐTech（テック）のクロス化（融合）=X-Techを深化・進化させます。

・経営基盤の強化と人財の高度化

持続的成長に向けて財務基盤の維持向上、Visionの実現と連動するSDGs目標に対して社員のエンゲージメントを重ねて一体感をもって取り組みます。社員のスキルの可視化とキャリアプランの明確化で社員一人一人の目標を明確にし、人財の高度化を進めます。

<建物サービスその他事業>

・パーソナライズされたメディア制作の推進

イベントプロデュースやSNS情報発信等、プラットフォーム・デバイスを問わずワンストップで多種多様なコンテンツ制作を行い、お客様のニーズに合わせた価値を提供します。

・エネルギー管理によるグリーン成長戦略への貢献

エネルギー管理関連資格者の育成に注力し、ますます重要性の高まるビルの省エネ運用に取り組むと共に、カーボンニュートラル社会の実現へ寄与します。

・社内シナジーの強化で新たな価値を提供

メディア制作・プロモーション・建築物管理を一括して請け負える強みを活かし、社内協業による独自の施設運営を確立することで、新規物件の取得を目指します。

3 戦略的投資方針

各事業の戦略に沿った機能や資源を獲得する手段として、必要に応じて、積極的な投資を行います。その際は十分な調査・研究を行い、投資の有効性を見極めるとともに、厳正な執行にあたります。

4 財務方針

(1) 重要な経営指標

事業の規模と成長の尺度である「連結売上高」と事業の収益性の尺度である「営業利益」を重要な経営指標とします。また、事業資産の安定的かつ効率的な利用によって、健全な自己資本比率の維持に努めます。

(2) 株主還元政策

収益構造の改善や成長に必要な投資等を行うことで総合的な企業価値を高めるとともに、安定配当を基本としながら、配当性向を徐々に高めていく方針です。

*本資料には 将来の見通しや予測等に基づく内容が含まれています。今後、様々な要因によって、実際の業績が異なる結果を生じる可能性があることを御了承ください。

お問い合わせ先

株式会社BSNメディアホールディングス
経営管理局総務部